

USAT理工文科大学

論文チェック リスト

このリストを印刷してください。最終論文を担当指導教員に提出する前に、各項目を検証チェックしてください。

- (1) ___ レイアウト(余白、フォントサイズなど)：指示に従っているか。
- (2) ___ ページ番号が入っているか確認。
- (3) ___ カバー ページ：指示に従っているか。名前、住所、Emailなど。
- (4) ___ 漢字、文法、文体：MS-Wordで文書校正ツールがオンになっているか。校正を行ったか。
- (5) ___ 無駄なスペースが文中に入っていないか確認。
- (6) ___ 段落書式/行間：行間は2行か。各行の最後に改行を入れていないことを確認する。段落書式を設定することにより、Wordが改行作業を自動的に行う。
- (7) ___ 本文内の引照：著者名と出版年のみを記入する。（詳細は「Harvard引照元表示規定」ファイルを参照）
- (8) ___ 参照資料リスト(著書目録)：項目別（書籍、雑誌、Webサイトなど）に分け、著者および出版社などのすべての必要な詳細が提供されているか確認。（詳細は「Harvard引照元表示規定」ファイルを参照）

- (9) ___ 「論文主題の正当性と根拠」「目的」などの項目で指示に従っていること確認。
- (10) ___ 論議が論理的に発展しているか。考えが明瞭で適切に提供されているか。
- (11) ___ 高いレベルの分析力(十分な数の引照)：研究によって裏付けられた記述、すべての関係する事象の網羅、およびそれらに基づいて至った結論。
- (12) ___ 高いレベルの洞察および革新性：著述は重要な思考を反映したものであるべき。
- (13) ___ 学術的表現：極端にくだけた表現、軽すぎる表現、極端に日常生活的な表現、独断的な表現を避けているか。
- (14) ___ 引照方法に関する指示や規定に従っているか：文献の多様性。同一の文献から20%以上引照していないこと。15%以下が理想。
- (15) ___ 結論：すべての考えまとめ上げているか。論理的かつ説得力があるか。ダイナミックで十分論議されているか。
- (16) ___ 論文は特定の事象に関して高いレベルの理解を得ていることを示し、「概要」の部分で示した「目的」に十分達していることを示すものとなっているか。

重要：論文の一部を仕上げたら、それを担当指導教員に送付してください。あなたの論文

が指示や規定に沿っているかチェックを受けられます。指導教員は常時皆さんの助けとなるために待機しています。分からない点や疑問点等は何でも自由に尋ねてください。喜んで指導します。こうすることにより、論文作成が終了した時点で、それを上記チェックリストにあるすべての項目に準拠したものとできます。自分の能力すべてを駆使して、上記の指示や規定に従っていることを検証し、それから最終論文を提出してください。論文を提出後に、指導教員によってさらなる訂正および再提出を求められるならば、あなたや指導教員に対する不必要な負担が増えるだけでなく、最終成績にも影響を与えることになるという点に注意してください。

*詳細については、このアドレスに連絡をしてください：tutor@usatmts.jp